

PEACE

WAR

講演

日本国憲法と 日米安保体制



「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し」つくられた平和憲法。その存在にかかわらず、日米安保体制の下で急速にすすめられつつある“戦争をするため”の国づくり。

米軍と自衛隊の一体化、指揮命令の一本化がすすむ日米安保体制の危険性を明らかにしながら、武力なき平和を希求する日本国憲法のもつ意味、それを守り生かすことについて、長年の国会議員としての体験をふまえ、語っていただきます。

横路 孝弘さん（元衆院議長・北海道知事）

1941年 札幌市生まれ。
東京大学法学部を卒業後、弁護士登録。
1969年 父・節雄氏の急逝を受け、
第32回衆議院総選挙に旧北海道1区から
日本社会党公認で立候補し、初当選。
以後、衆議院議員5期、北海道知事3期、
衆議院議員復帰後、衆議院議長等を歴任。
2017年第48回衆議院総選挙に立候補せず引退。
現在も各地で講演等、精力的に活動をしている。

2018年 **6月23日** (土)

13:30～15:30

札幌教区カトリックセンター

中央区北1東6

参加費 無料

主催 カトリック札幌地区正義と平和協議会
問合せ 011-864-5526 松永



地下鉄東西線
「バスセンター前」下車
10番出口より徒歩3分
中央体育館向い

